

事務事業マネジメントシート(平成23年度実績と平成24年度計画)

平成24年 6月27日更新

事務事業名	百歳祝金等贈呈事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画	政策	4	みんな元気で笑顔あふれるまちづくり		所属部	健康福祉部	課長名	可徳 精至
体系	施策	16	高齢者の自立と社会参加の促進		所属課	高齢者支援課	担当者名	米澤 伸仁
	基本事業	47	高齢者の社会参加の促進		所属班	高齢者保険班	(内線)	2144
予算科目	会計一般	款3	項1	目4	事業連番10444	法令根拠	老人福祉法第5条第3項老人の日記念百歳の高齢者に対する祝状及び記念	成果優先度評価結果 : ④ コスト削減優先度評価結果 : ⑨
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 23年度で終了 <input type="checkbox"/> 23年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要(具体的なやり方、手順、詳細。期間限定複数年度事業は全体像を記述)

【事業の内容】 (開始した背景・きっかけ・今後の状況変化を含む)	<p>○多年にわたり社会の発展に寄与して来られた高齢者に対し、敬老祝金等を贈呈する。 (対象者)百歳の誕生日を迎える人(祝金等)敬老祝金10万円とお祝いメッセージ ○平成21年度までは、百歳以上の人に毎年1万円の祝金と表彰状を贈呈していた。 ○平成22年度、市長マニフェストを踏まえ、百歳到達時に10万円を贈呈することにした。 ○国が百歳到達者に内閣総理大臣表彰状と記念品を贈呈するので、その伝達を行っている。</p>
【業務の流れ】	<p>【市】①百歳到達者の名簿作成 ②本人(家族)と贈呈日の調整 ③祝金の支出命令・メッセージの作成等 ④誕生日後に自宅(施設)を訪問・祝金贈呈 ⑤市広報への記事掲載 【国】①該当者の現況調査 ②県への報告 ③表彰物の授受 ④本人(家族)と伝達日の調整 ⑤敬老週間に合わせ自宅(施設)を訪問・伝達 ⑥県へ結果報告</p>
【主な予算費目】	報償費、需用費、役務費。
【意見や要望】 関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?	特になし

1 現状把握の部(DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標	新規・拡充区分
①手段(主な活動)23年度実績(23年度に行った主な活動)(DO)	24年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
【市】①名簿作成 ②贈呈日調整 ③祝金等準備 ④訪問・贈呈 ⑤広報掲載	23年度と同様
【国】①現況調査 ②県報告 ③表彰物授受 ④伝達日調整 ⑤訪問・伝達 ⑥県結果報告	
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由
→ ア:100歳到達者以上の人数	人 百歳を迎えられる高齢者が8名の予定であるため報償費の減。
イ:祝金、表彰状準備数	個
②対象(誰、何を対象にしているのか)*人や自然資源等	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
合志市に住民登録している当該年度に百歳の誕生日を迎える人	(単位) 人
	→ ア:100歳到達者以上の者
	イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
百歳の長寿を祝う	(単位) 千円
	→ ア:祝金額
	イ:
*③成果指標設定の理由と24年度目標値設定の根拠 親族等多くの方から祝ってもらえるので祝金額とした。	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2)各指標・総事業費の推移		単位	21年度実績(決算)	22年度実績(決算)	23年度目標(当初予算)	23年度実績(決算)	24年度目標(当初予算)	25年度予定	26年度見込	27年度見込
①活動指標	ア 人		27	13	15	12	8	15	18	20
	イ 個		27	15	15	12	8	15	18	20
②対象指標	ア 人		27	13	15	12	8	15	18	20
	イ									
③成果指標	ア 千円		2,700	2,816	2,000	1,200	800	1,500	1,800	2,000
	イ									
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	一般財源	千円	298	2,826	2,041	1,230	827	1,545	1,854	2,060
	(A)事業費計	千円	298	2,826	2,041	1,230	827	1,545	1,854	2,060
人件費	(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0	0
	正規職員従事人数	人	4	4	4	4	4	4	4	4
延べ業務時間	時間	138	140	140	120	140	140	140	140	
(B)人件費計	千円	549	576	576	484	576	576	576	576	
トータルコスト(A)+(B)	千円	847	3,402	2,617	1,714	1,403	2,121	2,430	2,636	

事務事業名	百歳祝金等贈呈事業	所属部	健康福祉部	所属課	高齢者支援課
-------	-----------	-----	-------	-----	--------

2 評価の部 (SEE)

*原則は23年度の後評価、ただし複数年度事業は23年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①23年度目標達成度評価 事務事業の当年度実績は当年度目標値を達成したか、未達成の場合その原因は？	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②24年度目標達成見込み 事務事業の次年度目標値に対して次年度の見込みはついているのか？	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 贈呈要件に誕生日時点において引き続き1年以上、住民登録されていることとあるので、死亡により対象者が減少することはあっても増えることはない。
有効性評価	③成果の向上余地 次年度以降にこの事務事業の成果を向上させる余地はあるか？成果が頭打ちになってないか？	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 100歳を迎える高齢者を祝うことは、「ひろく市民が今日まで地域を創ってくれたことに感謝の意を表し高齢者の福祉について関心と理解を深めるとともに、高齢者が健康で長生きしたいとの意欲を高めることにより社会参加が促進され地域での仲間づくりができる」ということを維持していく。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか？類似事業との統廃合ができるか？類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか？	<input type="checkbox"/> 他に手段がある⇒【理由】(具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない
効率性評価	⑤事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか？(仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 祝金や表彰状を直接手渡すことに意義があり、郵送や口座振込みでは意味がなくなる。
	⑥人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？成果を下げずに正職員以外の職員や委託でできないか？(アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 この事業に係る必要最少の業務時間数である。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 100歳を迎える高齢者の人生の大きな通過点を祝うことは、ひろく市民が今日まで地域を創ってくれたことに感謝の意を表し高齢者の福祉について関心と理解を深めるとともに、高齢者が健康で長生きしたいとの意欲を高めることにより社会参加が促進され地域での仲間づくりができる。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化 事業事務のやり方や手段においてこれまでの行政、市が行ってきた範囲を住民や地域・団体に移行できないか？	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 祝金贈呈事務は市が行なわなければならない事務である。

3 評価結果の総括 (SEE) ※事務事業全体の振り返り、成果及び反省点等を記入

特になし

4 今後の方向性(事務事業担当課案)(PLAN)

(1) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持		○																		
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																					